



株式会社平和堂

会社説明会

東証プライム 8276

2024年11月30日

本日本話しする内容

1. 会社概要
2. 業績の推移
3. 第5次中期経営計画
4. サステナビリティに関する取り組み
5. 株主還元

1. 会社概要

会社概要

社名	株式会社 平和堂
所在地	〒522-8511滋賀県彦根市西今町1番地
設立	1957年6月
資本金	116億1,437万9千円
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
従業員数	13,115名※2024年8月時点パート・アルバイトは8時間換算の期中平均
事業内容	食料品、衣料品、日用雑貨品等の 総合小売業及び店舗賃貸業等
店舗数	166店舗※2024年11月20日時点
連結子会社	15社 ※2024年8月20日時点 2024年8月21日(株)丸善は平和堂と合併



平和堂イメージキャラクター

「はとっぴー」

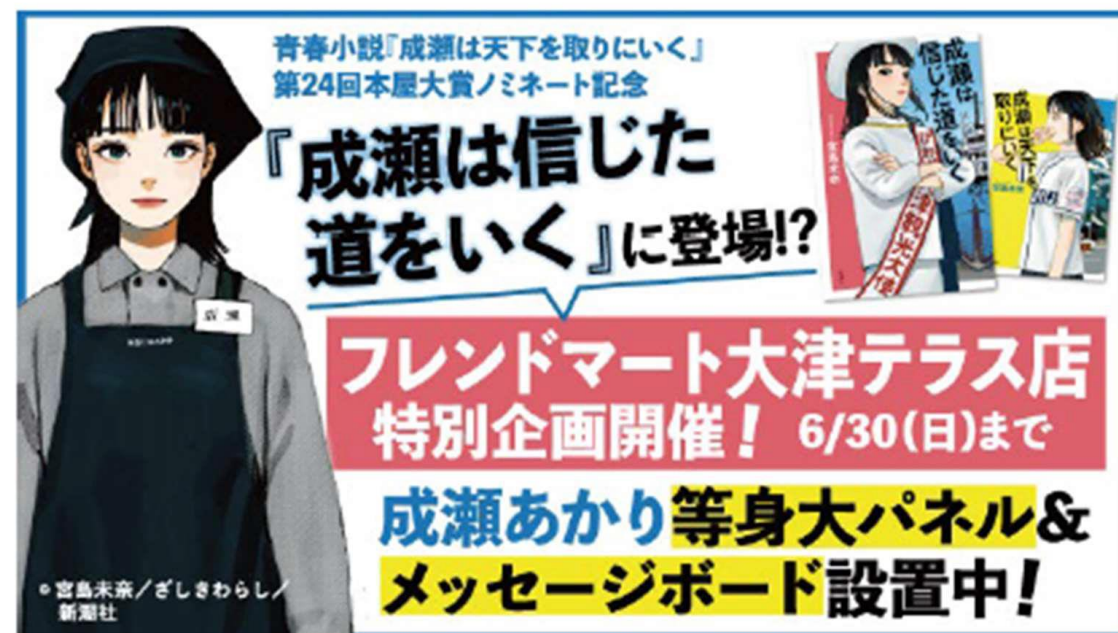
平和堂の紹介

1957年に滋賀県彦根市に創業以来、2府7県に出店エリアを拡大

映画「翔んで埼玉」
～琵琶湖より愛をこめて～



本屋大賞2024年
「成瀬は天下を取りに行く」



滋賀県出身西川特命GM



平和堂イメージソング
「かけっことびっこ」

彦根にある
近江高校吹奏楽部
レポートリー

平和堂の紹介



ショッピングセンター、スーパーマーケットを2府7県に展開
売場面積 500㎡から65,000㎡の様々な店舗

知多店 10月25日開店
(愛知県知多市)



フレンドタウン長久手
(愛知県長久手市)



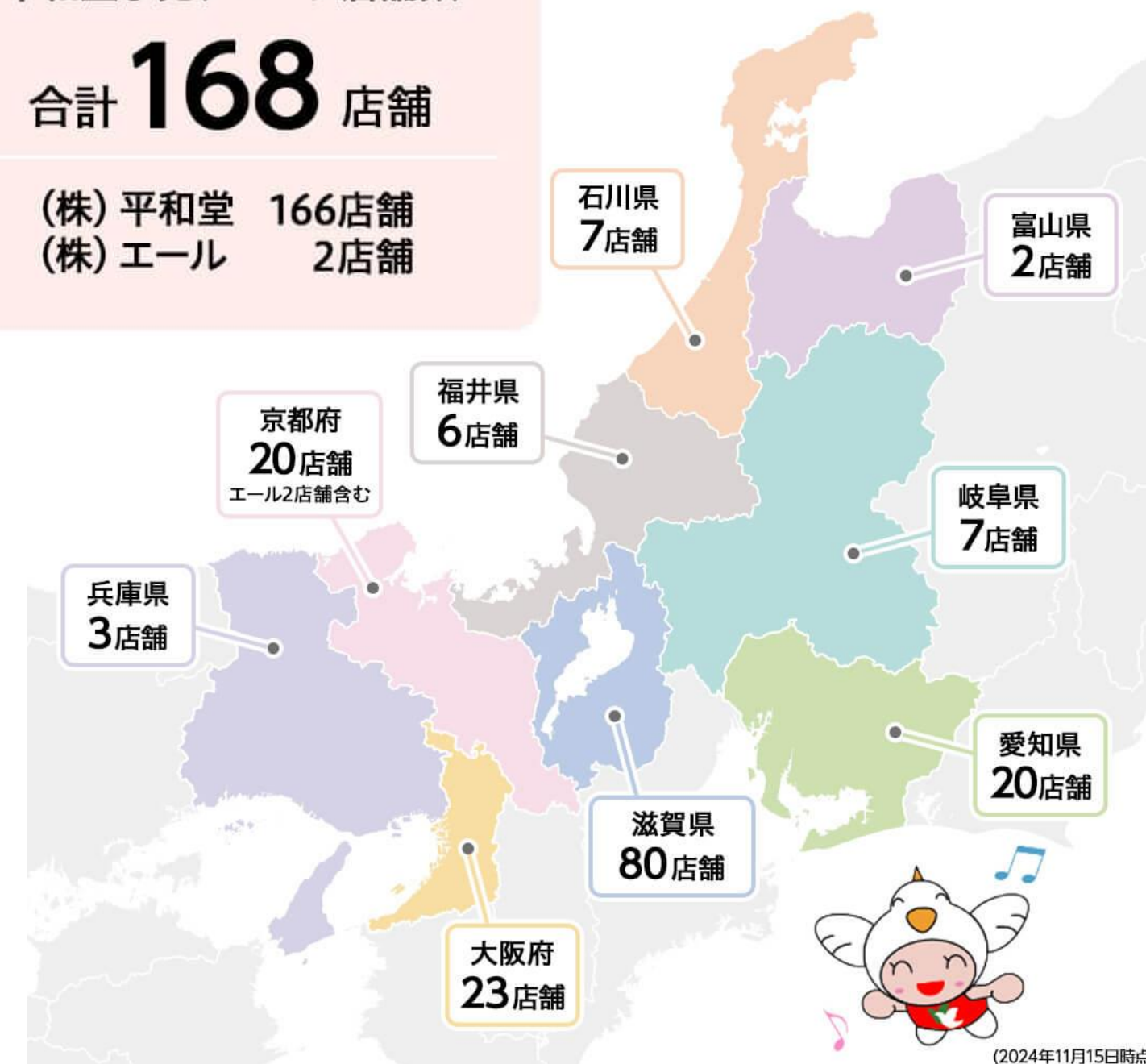
アル・プラザ鶴見 (岐阜県大垣市)



平和堂小売グループ店舗数

合計 **168** 店舗

(株) 平和堂 166店舗
(株) エール 2店舗



(2024年11月15日時点)

平和堂の沿革

平和堂は創業以来、豊かな暮らしと文化生活の向上に貢献し、より多くのお客様にとって「なくてはならないお店」を目指して歩んできました。

1957年 彦根市銀座街に
「靴とカバンの店・平和堂」
を創業



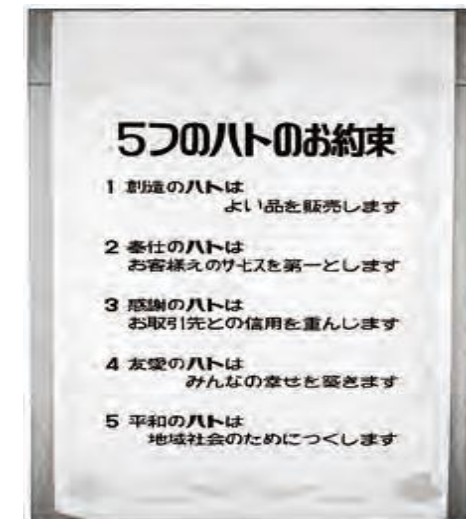
化粧品、衣料、食料品
と扱いを広げ、
1966年以降、
衣食住揃った総合小売
として店舗展開

ドミナント展開
一定地域に多店舗展開



琵琶湖ネックレスチェーン構想

1972年
経営理念をわかりやすく
“5つのハトのお約束”
として制定



1. 奉仕のハトは、お客様へのサービスを第一とします
2. 創造のハトは、よい品を販売します
3. 感謝のハトは、お取引先との信用を重んじます
4. 友愛のハトは、みんなの幸せを築きます
5. 平和のハトは、地域社会のためにつくします

1989年
平和堂独自の
ポイントカード
「HOPカード」
誕生

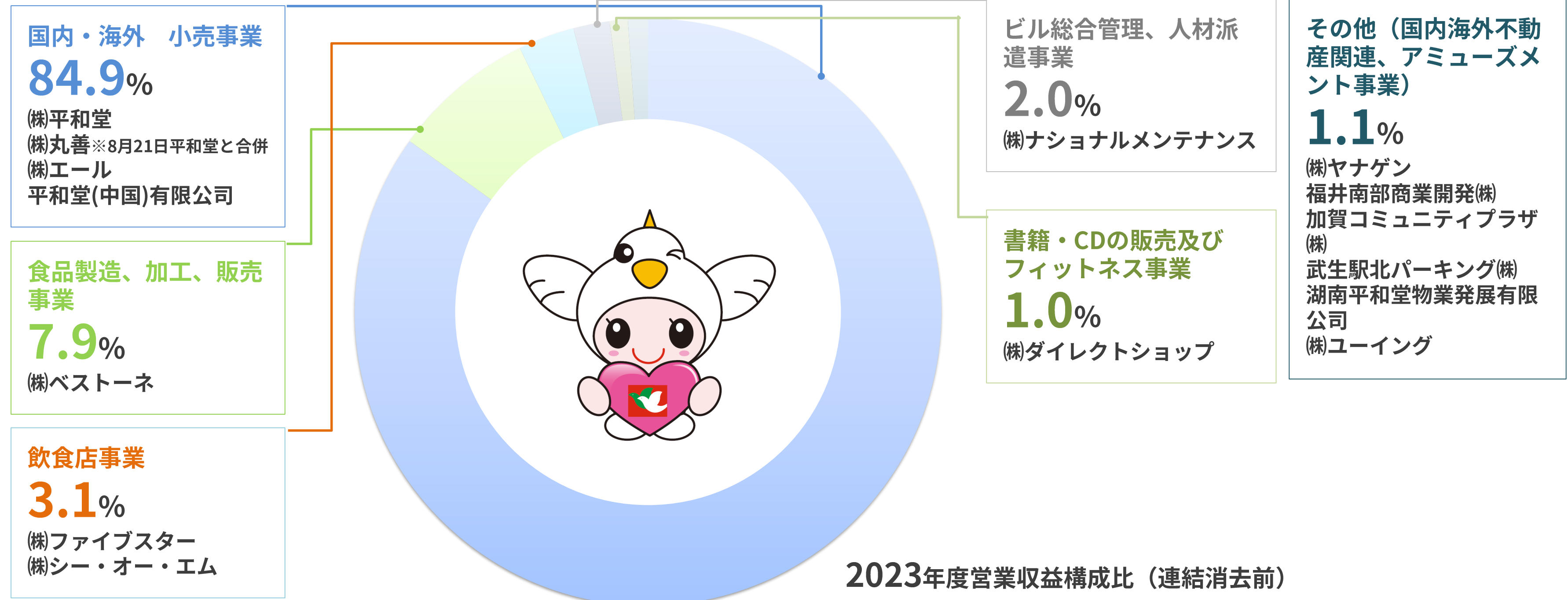


平和堂グループの概要

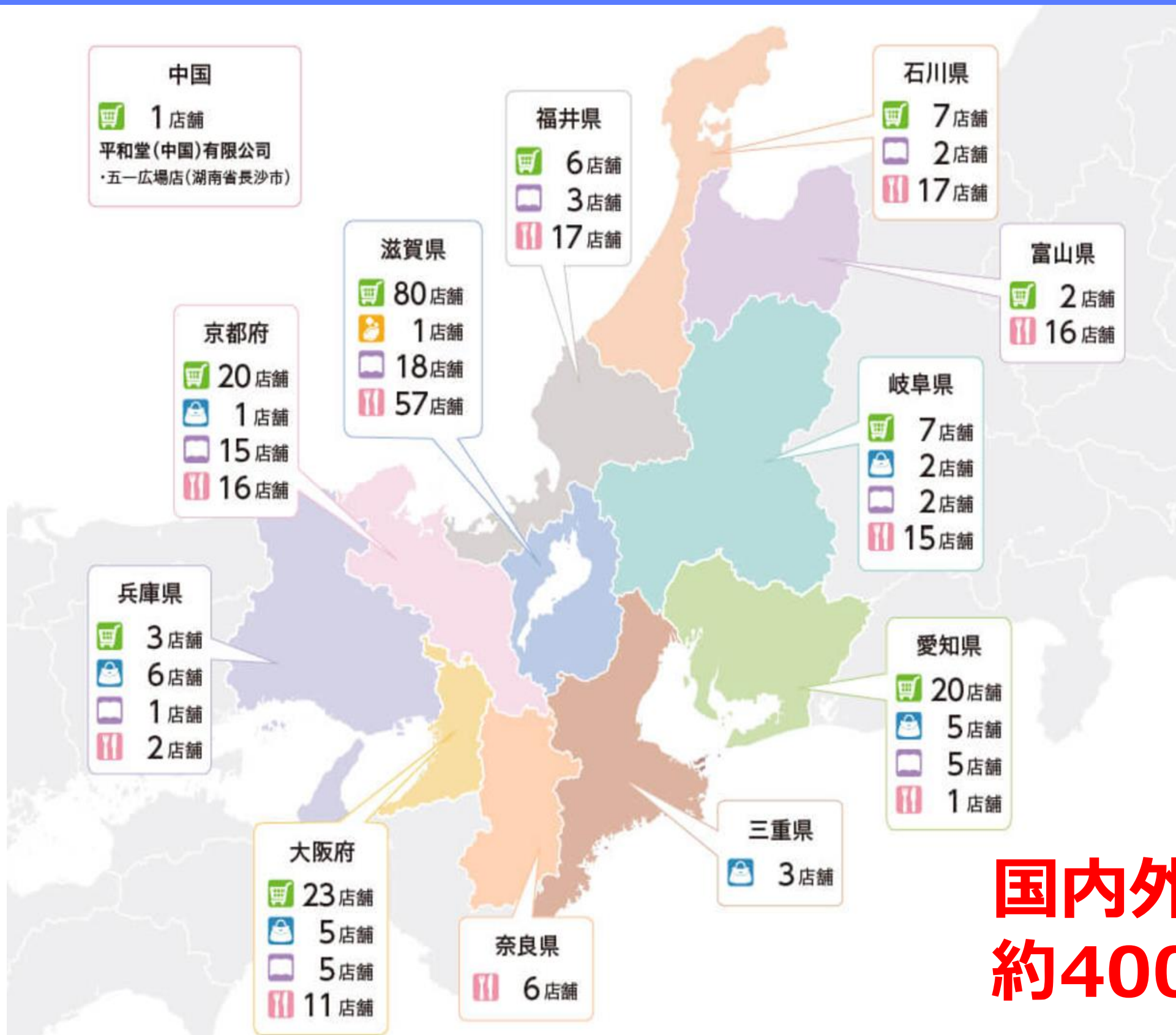
平和堂グループはグループ憲章を原点に、お客様と地域社会に貢献し続けることを理念に掲げ事業を展開しています。

【平和堂グループ憲章】

全従業員の物心両面の幸福を追求するとともに、お客様と地域社会に貢献し続ける企業となる



平和堂グループの概要



小売業

(株)平和堂	166店舗
平和堂（中国）有限公司	1店舗
(株)エール	2店舗

ショップ型店舗

（平和堂・エールの建物外への出店ショップ）

※ショップ型店舗とは…

株式会社平和堂直営のオリジナルセレクトショップで、
専門店・商業施設等へテナント出店している店舗

> CoCoRo Plus	18店舗
> kids fest	2店舗
> GOODS DEPO	2店舗

惣菜等の製造・加工・販売

(株)ベストストーン	1店舗
・旨季家	

書籍・CD・DVDの販売、レンタル業、フィットネス

(株)ダイレクト・ショップ	3店舗
・TSUTAYA	
・平和書店	30店舗
・エニタイムフィットネス	18店舗

飲食店・アミューズメント施設

(株)ファイブスター	77店舗
・ファミリーレストランCOCO'S	
・すし処海座	8店舗
・いちおしや伝五郎	6店舗
(株)シー・オー・エム	29店舗
・ケンタッキーフライドチキン	
・サーティワンアイスクリーム	8店舗
・リンガーハット	2店舗
・ピアードパパ	2店舗
・ゴンチャ	1店舗
(株)ユーイング	23店舗
・アミューズメント	
・ボウリング場	2店舗

国内外合計
約400店舗

平和堂グループの価値創造

平和堂グループは「100年企業」を実現するため、事業を通じた「地域社会の課題」「地球規模の課題」の解決とグループの成長の両立を目指します。

財務資本
安定的な財務基盤
・自己資本比率(連結) **60.2%**
・成長を見据えた投資金額 **234億円**
※一時費用含む

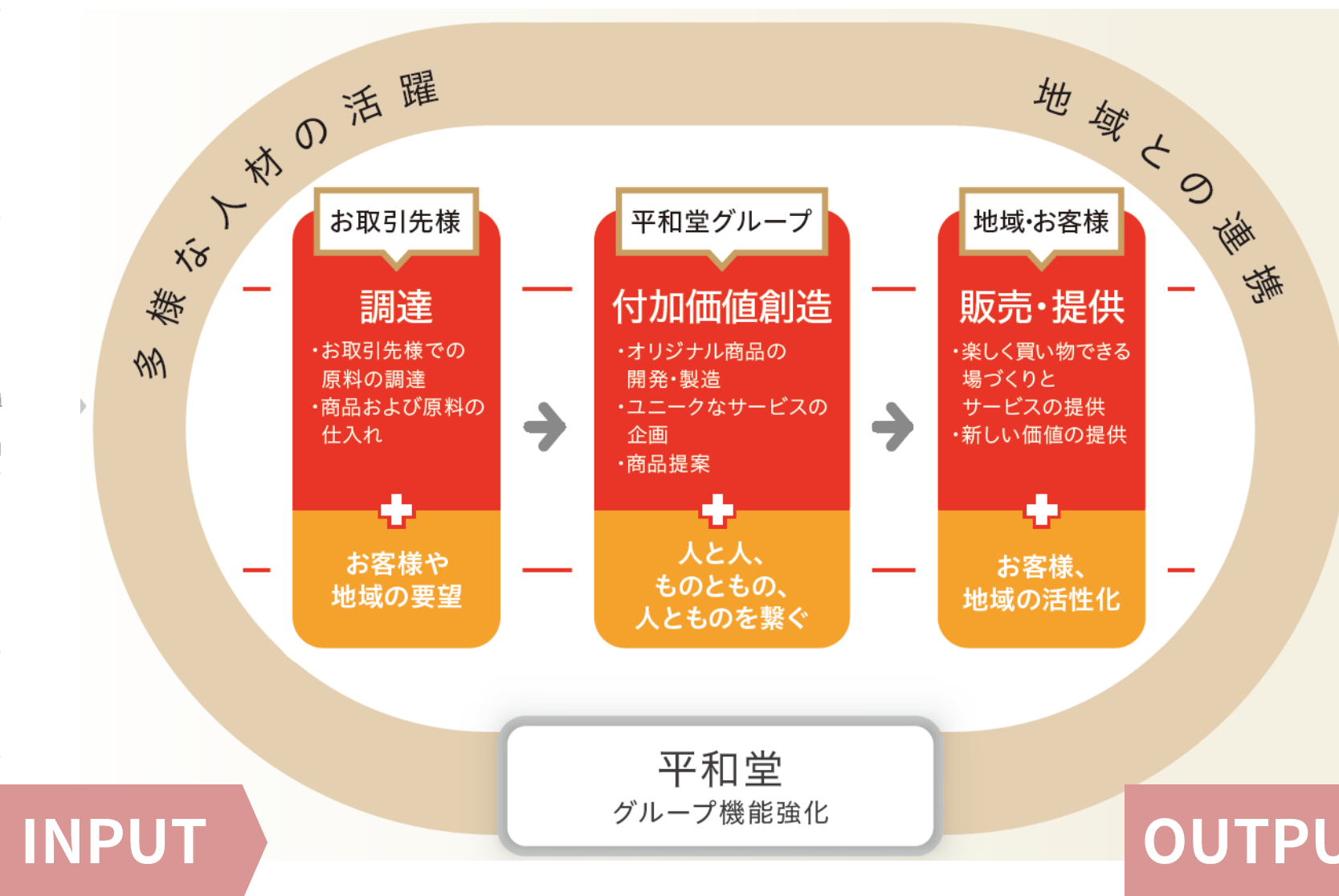
人的資本
地域の暮らし全般に関わる
多様な価値を提供できる人材
・平和堂グループ従業員数 **27,314名**
誰もが活躍できる職場環境
・健康経営
・業務災害予防策

知的資本
多様なチャンネルをベースとした
平和堂グループビジネス
・地域の暮らし全般に関わる
商品・サービスの調達力、開発力
・HOPカード会員を基盤としたHOP戦略
HOPカード会員数 **420万会員**
・自社ならではのこだわりブランド
「E-WA!」 **250品目**

製造資本
近畿・北陸・東海エリアでの
ドミナント展開
・平和堂グループ店舗数 **371店舗**
・平和堂プロセスセンター
・平和堂デリカセンター

社会・関係資本
・地域社会、行政との連携
・お取引先様満足度

自然資本
・温室効果ガスの削減
・リサイクル推進(食品・容器包装)
・平和の緑づくり活動



多様なチャンネルをベースとした
平和堂グループ全体での
地域に密着した機会・場の提供

2024年2月末現在

※ 営業収益(連結)
4,254億円(前年比102.3%)
※2022年度より新収益基準適用

※ 多様な人材が活躍する職場
女性管理職比率
(当社基準) **9.5%**

※ HOPカード経済圏の拡大
HOP-VISAカード
ハウス外利用時の
HOPポイント付与を開始

※ 自社こだわりブランドの拡大
「くらしモア」「E-WA!」
売上高 **474億円**

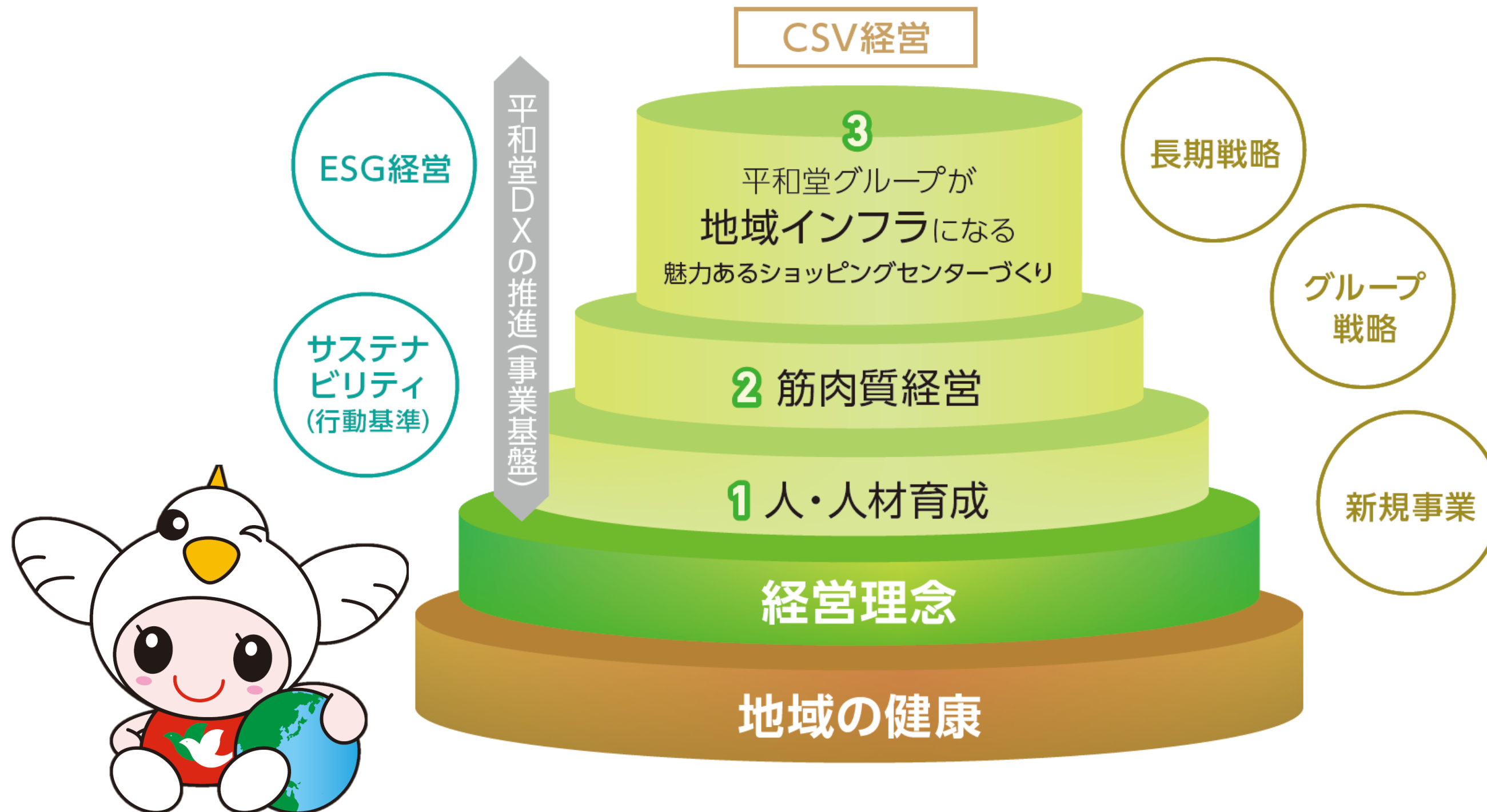


ありがたい姿

平和堂グループ憲章
全従業員の物心両面の幸福を
追求するとともに、
お客様と地域社会に貢献し続ける
企業となる

平和堂グループの中長期ビジョン

平和堂ならではの「地域密着ライフスタイル総合（創造）企業」を目指す



「地域の健康」

- ◆人の健康
- ◆地域社会の健康
(地域活動や
地域経済が
活性化されて
いる状態)

平和堂グループの中長期ビジョン

平和堂ならではの「地域密着ライフスタイル総合（創造）企業」を目指す

平和堂グループの存在意義

平和堂グループは、

『地域のインフラとして、生活全般に関わり、地域とともに社会的課題の解決に取り組む。そして、健全な社会環境の中で、多様な価値観が尊重され、誰もが住みやすく、“活気のある地域社会”と“豊かな暮らし”を実現する。』 に貢献し続ける

実現したい世界

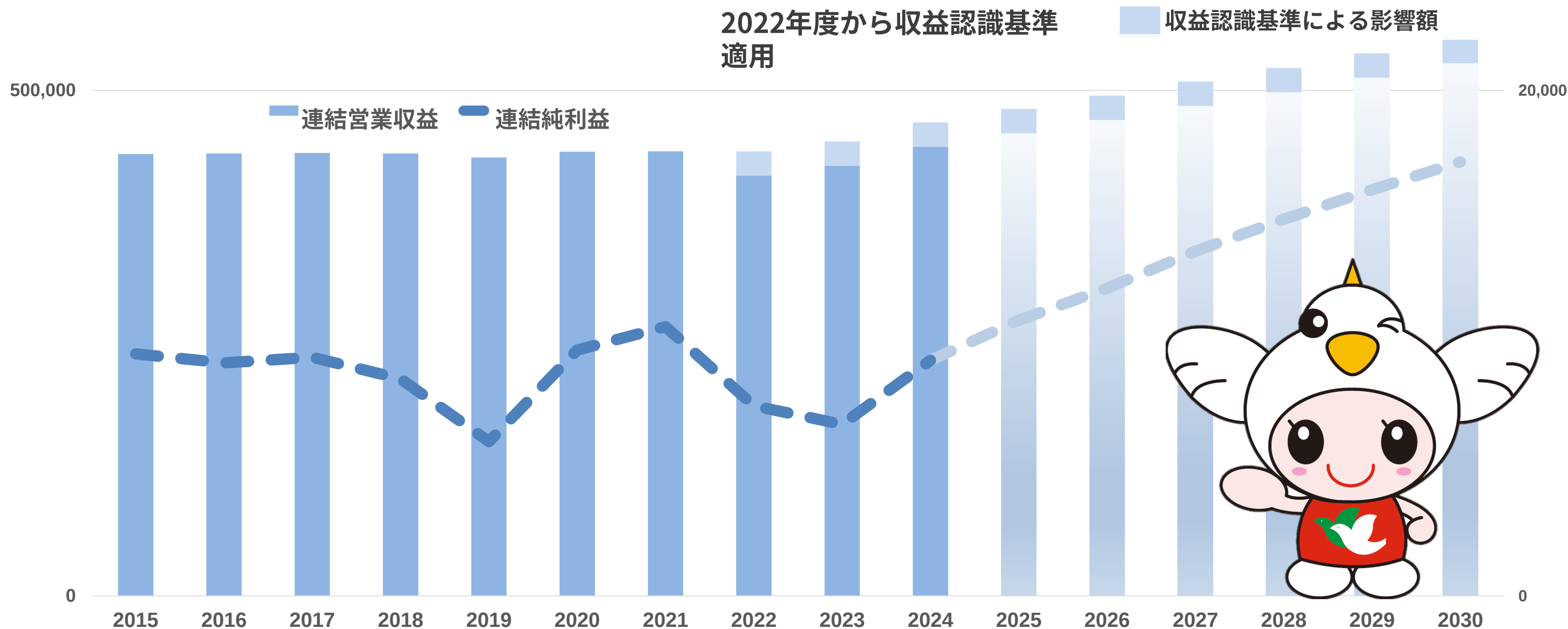
人々が暮らしていく中で、その地域が住みやすく、健康的で活気があり、助け合いの精神が息づいている。そのため、高齢者にとっても不自由の少ない、将来を担うお子様にとっても伸び伸びと育ち、子育て苦労も軽減されるような環境、雰囲気がある地域の文化を大切にし、環境の保全の意識も高く、生活の質が高い。それらの状況は、活発な地域交流と心地よい人と人の繋がりがもたらす。



2. 業績の推移

業績の推移

第5次中期経営計画を推進し、社会課題の解決と企業の成長を両立させることで、2030年のありたい姿を実現します。





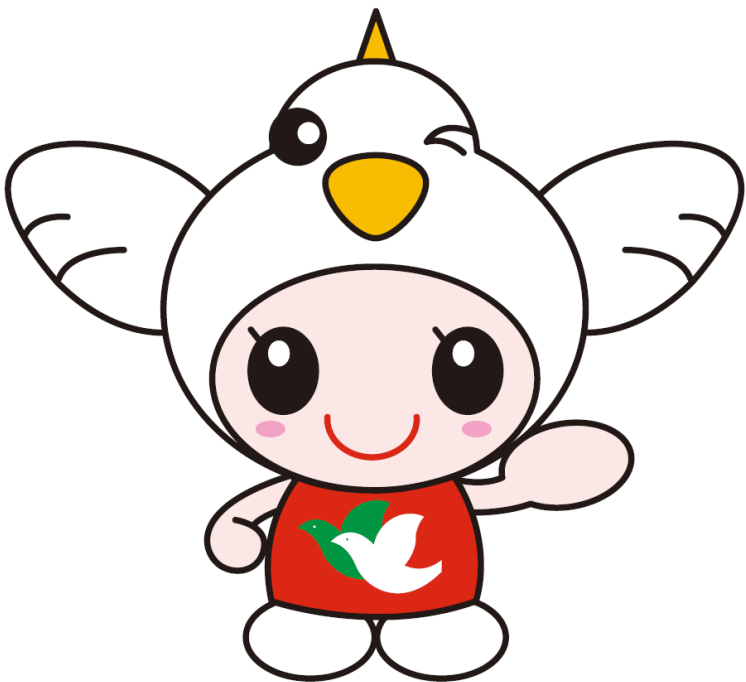
3. 第5次中期経営計画



2030年定量目標

2030年に向けて成長を加速すると同時に、株主の皆様への安定的な利益還元を目指します。

2030年の定量目標	
営業収益(連結)	5,000億円以上
営業利益率(連結)	4.5%以上
ROE	8%
女性管理職比率	20%以上
CO2排出量(Scope1・2)	46%削減(2013年度比)
食品廃棄額	50%削減(2019年度比)

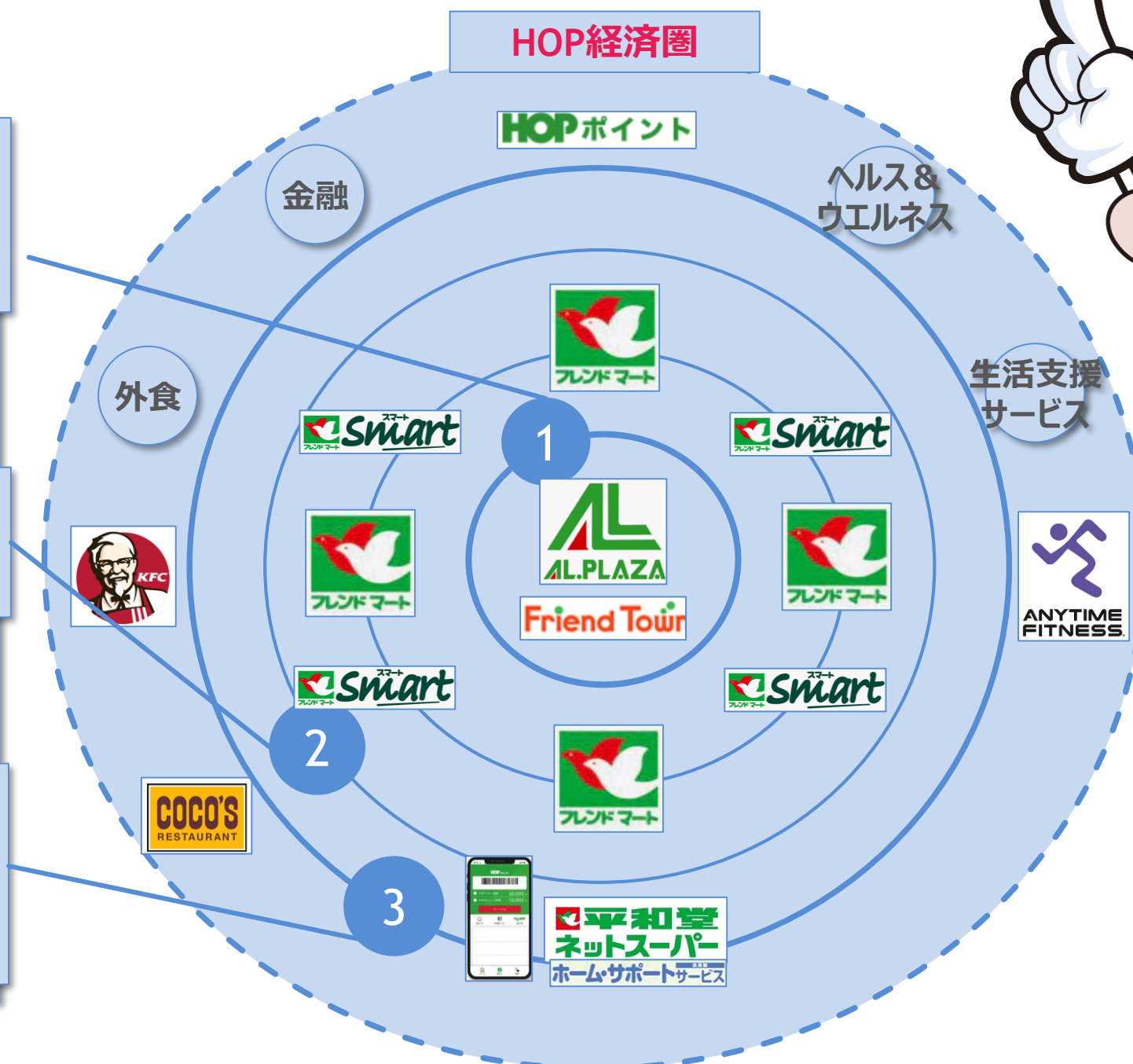


2030年に向けてありたい姿

- 様々なお買物のニーズやシーンに応える複数のフォーマットを構築/展開し、平和堂ならではのドミナントモデルでHOP経済圏を構築・拡大
- 従来のお客様支持を更に高めながら、子育て世代の支持を一層高める



- 1 地域の中核に据える旗艦店**
 - ・ 地域の暮らしの核としてお買物以外のサービスも提供する集いの場
- 2 日常使いの利便性の高い店舗**
 - ・ 便利でお得な、日常の食品・衣住ニーズを満たす場
- 3 お買物・くらしのコンシェルジュとしてのアプリ**
 - ・ お客様1人1人とつながり、パーソナライズする



グループの中核である小売事業の強化に資する3つの重点戦略

①子育て世代ニーズ対応による顧客支持の獲得

- ・日常使い商品の価格対応強化
- ・生鮮品・PB商品での差別化
- ・アプリを活用したコミュニケーション強化



②ドミナント戦略をベースとしたHOP経済圏の拡大

- ・複数フォーマットによる重点エリアへの出店拡大
- ・地域密着取組みによる顧客基盤の盤石化
- ・小型店舗・ネットスーパーなどの新規チャネル拡大

③生産性改善も含むコスト構造改革の推進

- ・生産性改善・業務プロセス見直しを通じた賃金UP・働きがい向上と人件費コントロールの両立
- ・物流改革の推進、仕様見直し等による各種コストの最適化

事業基盤となるDXの推進

事業基盤を支えるためにも、DX推進は重要と考えています。お客様への新しいお買い物物体験の提供や、当社グループの生産性向上、データの利活用など、人と人、モノと人、コトと人をつないでいくことを目指します。

CX

- HOPポイントのご提供機会を強化し
HOP経済圏拡大への挑戦
- HOPアプリ誕生

※CX お客様体験

EX

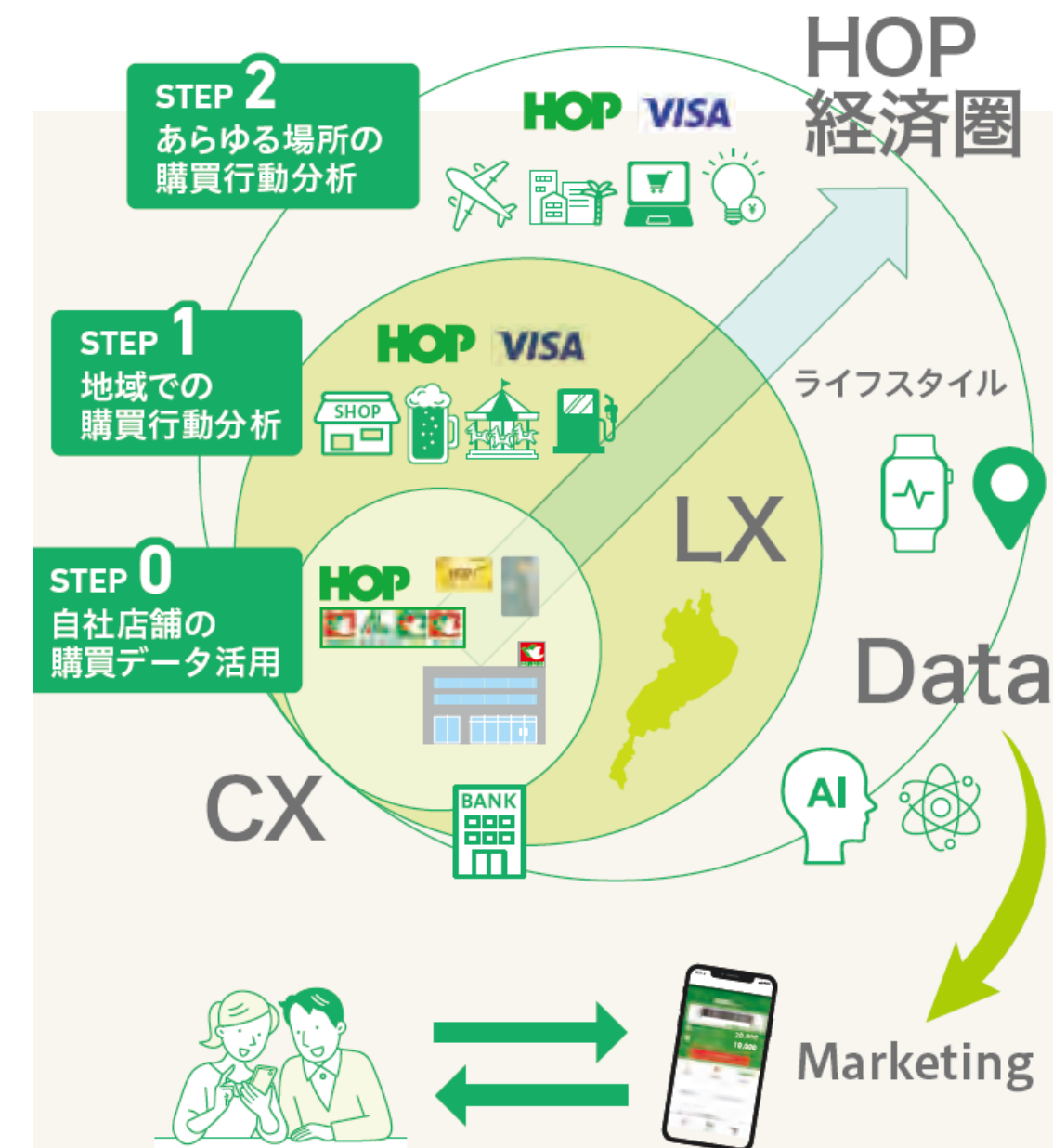
- デジタル化による新しい従業員体験に向けた挑戦
- AI需要予測発注 ▶ 発注作業削減 90%
- 新POSレジ導入 ▶ レジ業務削減 40%

※EX 従業員体験

LX

- データ利活用による地域社会生活の向上に向けた挑戦

※LX 地域体験





4. サステナビリティに 関する取り組み



行動基準となるサステナビリティの推進

「地域の健康」の実現

- ① 地域住民の健康推進
商品やイベントを通じた啓発

マイナス5歳の健康づくり講座



推定野菜摂取量測定会



- ② 地域の子ども達笑顔に
子どもの未来を応援



地元高校生たちの
アイデア実現企画
「HKB 笑顔いっぱいプロジェクト」

- ③ 高齢者が安心して暮らせる
例) ホーム・サポートサービス
と移動スーパー



買い物代行
お困りごと解決



移動スーパー



行動基準となるサステナビリティの推進

「地域の健康」の実現

④ 地域生産者が輝く 地元商品取組みの深耕

滋賀の地酒＋全国逸品



生産者が直接美味しさ、
食べ方を伝える



⑤ 地域プレイヤーと協力 例) 「しがのわ」プロジェクト



滋賀県出身の元プロサッカーが、
主宰する子ども達の夢を未来へとつなぐ
「しがのわプロジェクト」を支援

⑥ 地域経済を大切に 例) 平和堂ファーム



新規就農者を増やす
売れる野菜をつくりやすく
エコ（規格外野菜の活用
残渣のたい肥化）
スマート農業

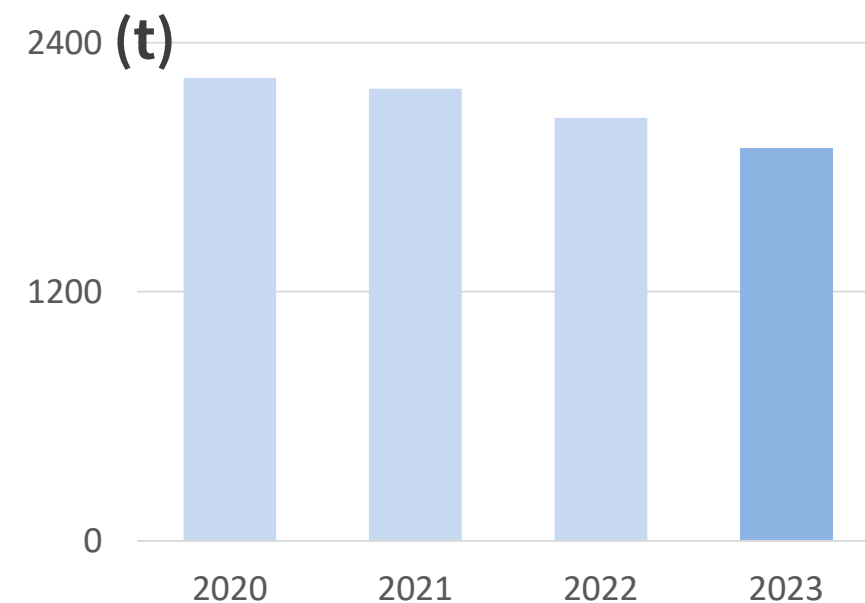
行動基準となるサステナビリティの推進

廃棄物削減と資源循環の推進



プラスチック削減対策

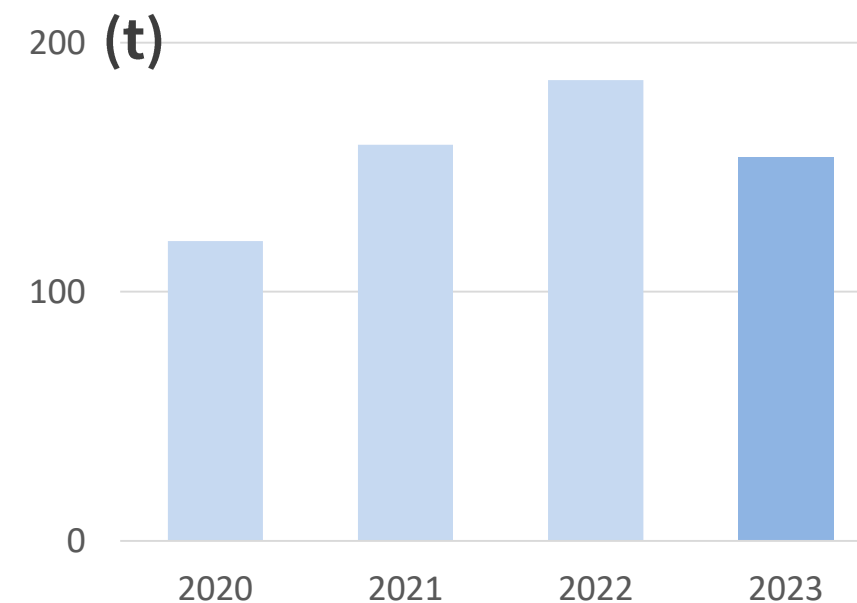
- ・ プラスチックトレイ使用量の削減
- ・ 「E-WA!」の環境対応
- ・ カトラリー素材の変更
- ・ 資源回収の取組み



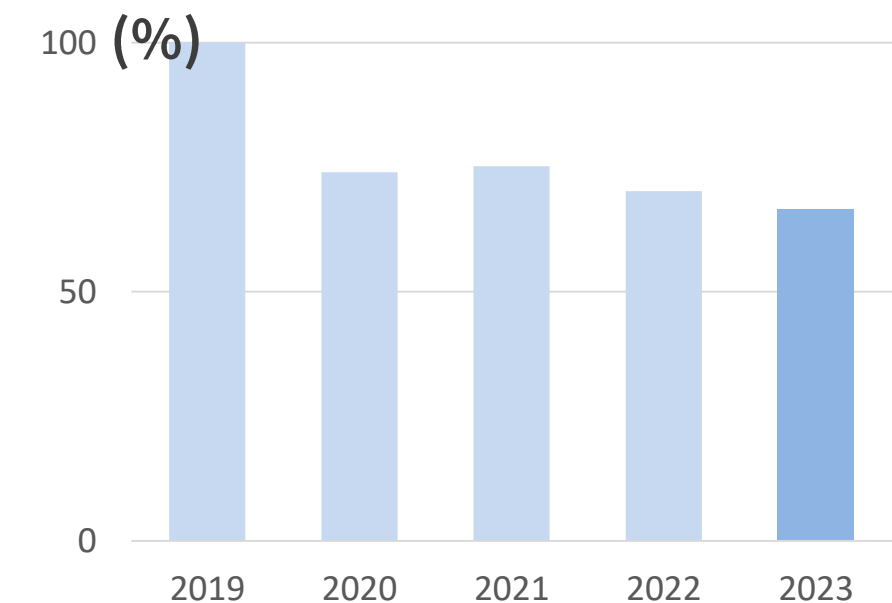
店内加工食品トレイ使用量の推移

食品ロス対策

- ・ 店頭および商品での取組み
- ・ フードドライブ活動への協力



E-WA!容器包装プラスチック
使用量の推移



食品廃棄額（2019年度基準）

行動基準となるサステナビリティの推進

脱炭素社会の実現

再生可能 エネルギーの 利用	太陽光発電の 導入拡大	・ オンサイトPPA 年間CO2排出量削減 ▲ 650t-CO2/年 ・ オフサイトPPA 年間CO2排出量削減 ▲ 4,650t-CO2/年 ・ ソーラーカーポート 年間CO2排出量削減 ▲ 180t-CO2/年
省エネ機器の 導入	LEDの 導入拡大	・ 年間CO2排出量削減 ▲ 890t-CO2/年
店舗での節電 推進	冷凍設備の 運用見直し	・ 年間CO2排出量削減 ▲ 960t-CO2/年

行動基準となるサステナビリティの推進

安全・安心で持続可能な商品の調達

環境に配慮した地場商品・
長期保存商品の調達

インショップコーナー
(生産者持込型売場) の充実



長浜農業高校との
取組み



安全・安心な食品の供給

商品調達基本方針に
基づいた調達



平和堂多賀デリカ
センターの稼働

行動基準となるサステナビリティの推進

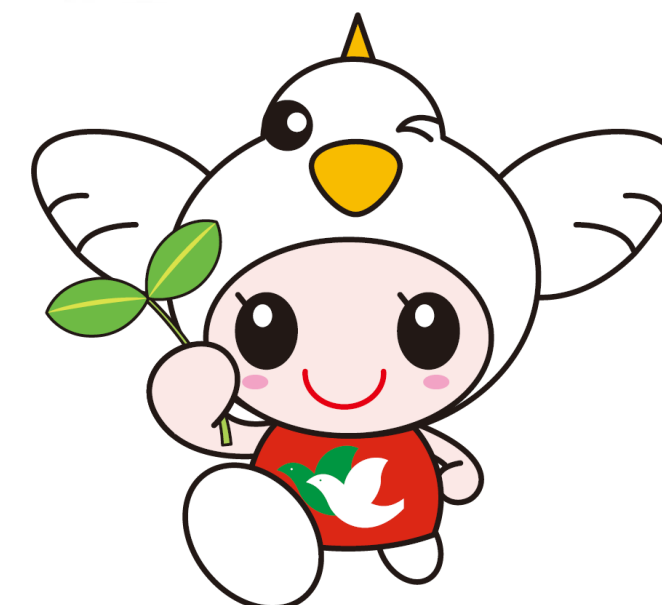
多様な人材の活躍

経営戦略	経営戦略を実現するための 人材戦略の課題
	人材ポートフォリオ・ピラミッド
	人材育成
	企業理念
	エンゲージメント
	DE&I
	健康経営

＜人材戦略の基本方針＞の一つである「健康経営」について、グループ憲章にもとづき、全従業員の健康づくりを推進します。また、健康にかかる事業活動を通じて、地域の健康づくりに貢献していきます。



平和堂は、経済産業省と日本健康会議が共同で認定する「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」を取得しました。



5. 株主還元

株主還元方針

2025年2月期は、「今回の株主還元方針の見直しに伴い配当性向30%以上を株主に還元する」
としたことに従い、中間配当30円、期末配当30円 年間60円 とします。
2025年2月期から2027年2月期の配当政策については「累進配当」を導入します

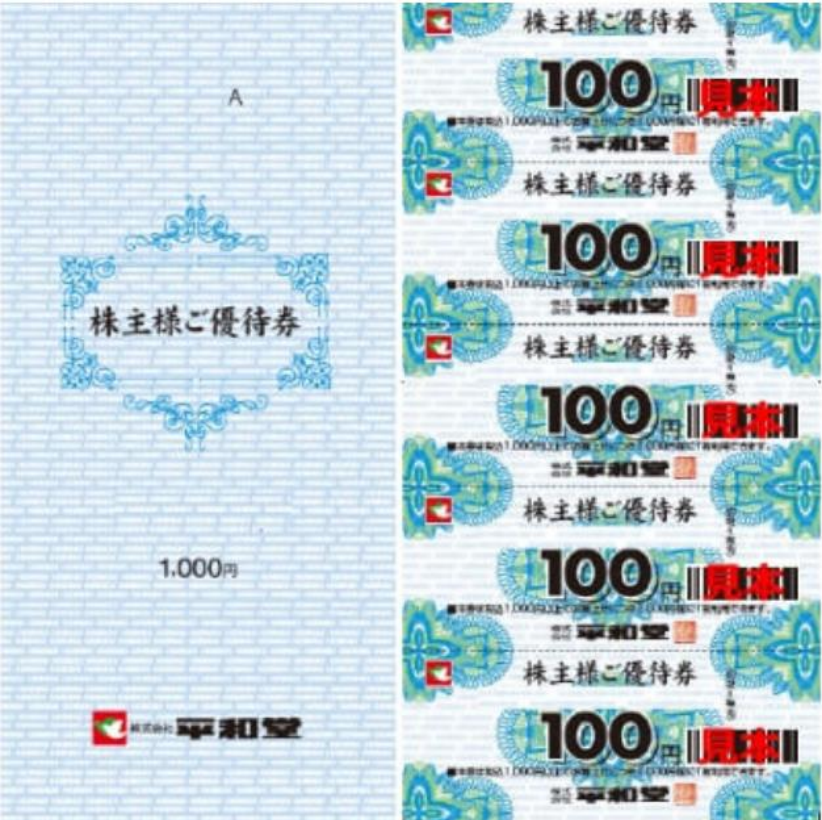
	2021/2	2022/2	2023/2	2024/2	2025/2
当期純利益(百万円)	9,724	10,647	7,516	6,774	9,100
1株当たり配当金(円)	38	42	42	42	60
配当性向(%)	20.5	20.7	29.3	32.5	33.9

株主優待制度

対象の株主さまへ「株主様ご優待券（額面100円）」または「ギフト券」のいずれかを贈呈いたします。

対象となる株主さま	
毎年2回（2月20日、8月20日）現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式を100株以上保有する株主さまを対象といたします。	

所有株式数	1回当り贈呈額	
100株～299株	1,000円のご優待券	100円券×10枚
300株～499株	3,000円のご優待券	100円券×30枚
500株～999株	5,000円のご優待券	100円券×50枚
1,000株～1,999株	10,000円のご優待券	100円券×100枚
2,000株～2,999株	20,000円のご優待券	100円券×200枚
3,000株～3,999株	30,000円のご優待券	100円券×300枚
4,000株～4,999株	40,000円のご優待券	100円券×400枚
5,000株以上	50,000円のご優待券	100円券×500枚

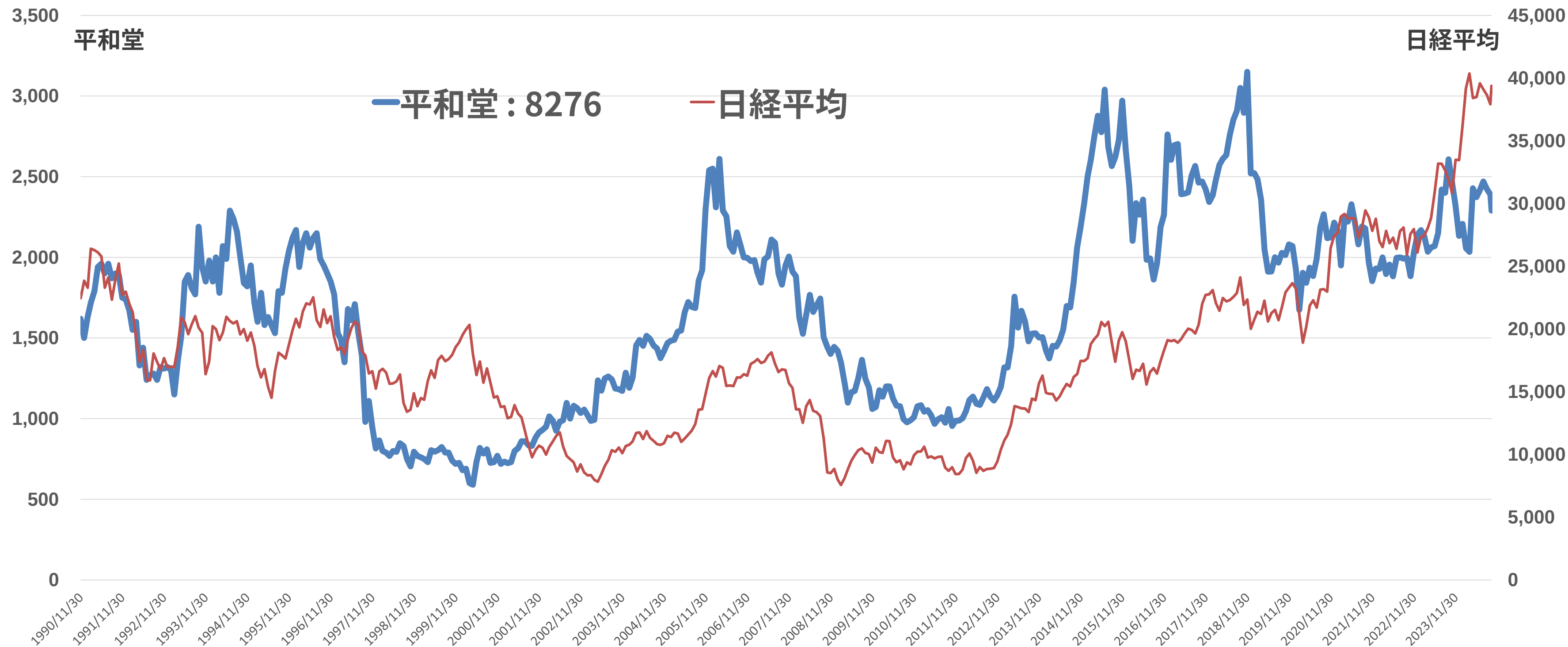


ご使用方法は、1回のお買上金額（1枚のレシートの税込金額）1,000円以上につき1,000円毎に各1枚（100円券）ご利用いただけます。

長期保有優待制度
毎年2月20日、および8月20日を基準日とする当社の株主名簿に、同一の株主番号で5回以上記載または記録され、かつ同期間に継続して所定の株式数以上を継続してご所有の株主さま
1,000円のご優待券 100円券×10枚

株価の動向

平和堂（8276）と日経平均株価の推移



ご清聴ありがとうございました。



株式会社平和堂
総務部・経営企画部・財務部
IRチーム

0120-668-852

<https://www.heiwado.jp/info/form>

決算短信、月次営業報告など
投資家の皆様にお役立ていただける当社企業情報を
下記ホームページにてご覧いただけます

<https://www.heiwado.jp/company>

